



1

1 y は x に比例するから、 $y = ax$ とおき、 $x = 3$ 、 $y = -6$ を代入する。

2 y は x に反比例するから、 $y = \frac{a}{x}$ とおき、 $x = -4$ 、 $y = 3$ を代入する。

3 まず、 $y = \frac{1}{2}x$ に $x = 6$ を代入し、点 A の座標を求める。次に、 $y = \frac{a}{x}$ に点 A の座標を代入し、 a の値を求める。

4 傾きが -2 だから、求める直線の式を $y = -2x + b$ とおき、点 $(3, 5)$ の座標を代入する。

5 切片が 2 だから、求める直線の式を $y = ax + 2$ とおき、点 $(6, -1)$ の座標を代入する。

6 平行な直線の傾きは等しい。求める直線の式を $y = -4x + b$ とおき、点 $(1, -2)$ の座標を代入する。

7 求める直線の式を $y = ax + b$ とおき、2点 $(4, 10)$ 、 $(-1, -5)$ の座標を代入すると、 $10 = 4a + b$ 、 $-5 = -a + b$ となる。連立方程式を解き、 a 、 b の値を求める。

8 変化の割合(傾き) = $\frac{y \text{ の増加量}}{x \text{ の増加量}} = a$

$a = \frac{6}{2} = 3$ より、求める直線の式を $y = 3x + b$ とおき、点 $(4, 0)$ の座標を代入する。

9 $y = -\frac{1}{2}x + 6$ に $x = 2$ 、 $x = 8$ をそれぞれ代入する。

10 $(y \text{ の増加量}) = (\text{変化の割合}) \times (x \text{ の増加量})$

11 (1) $B(0, 8)$ より、求める直線の式を $y = ax + 8$ とおき、点 A の座標を代入する。

(2) $D(0, -4)$ より、求める直線の式を $y = ax - 4$ とおき、点 C の座標を代入する。

(3) 直線①と直線②の交点だから、連立方程式を解けばよい。

(4) $\triangle AEC$ の底辺は点 A と点 C の x 座標の差の絶対値、高さは点 E の y 座標の値である。

(5) 四角形 $EBOC = \triangle ABO - \triangle AEC$

2

1 比例のグラフは原点を通るから原点とそれ以外の1つの点を結べばよい。

(1) 例えば、 $y = 2x$ に $x = 1$ を代入する。

(2) 例えば、 $y = \frac{1}{3}x$ に $x = 3$ を代入する。

(3) 例えば、 $y = -x$ に $x = 1$ を代入する。

2 (1) x 座標、 y 座標がともに整数である点を取り、なめらかな線で結ぶ。

(2) $y = \frac{a}{x}$ とおき、点 $(-2, 3)$ の座標を代入する。求めた反比例の式をもとに、 x 座標、 y

座標がともに整数である点を取り、なめらかな線で結ぶ。

3 一次関数のグラフのかき方 $y = ax + b$ の場合

① 切片 $(0, b)$ をとる。

② 傾きを分数 $(a = \frac{n}{m})$ に変形する。

$a > 0$ のとき、切片から右に m 、上に n 移動する点をとる。

$a < 0$ のとき、切片から右に m 、下に n 移動する点をとる。

③ ①と②でとった点を直線で結ぶ。

4 ①の場合について、求めるグラフの式を $y = ax + b$ とする。

グラフが点 $(0, 2)$ を通るから、 $b = 2$

また、グラフ上のある点から右に1進むと上に1進むから、 $a = \frac{1}{1} = 1$

よって、求めるグラフの式は、 $y = x + 2$ ②、③についても同様に考える。

5 (1) 25分 $(\frac{25}{60}$ 時間) で5 km 進んでいる。 (速さ) = (道のり) ÷ (時間)

(2) 求める直線の式を、 $y = ax + b$ とおき、 $(25, 5)$ 、 $(55, 7)$ をそれぞれ通るから、座標を代入し、 a 、 b の値を求める。

6 (1) 式 $\triangle APD = \frac{1}{2} \times AP \times AD$

変域 点 P は辺 AB 上 ($AB = 3$ cm) だから、動いた距離は0 cm 以上 3 cm 以下である。

(2) 式 $\triangle APD = \frac{1}{2} \times AD \times 3$ (三角形の高さは一定)

変域 点 P は辺 BC 上 ($AB + BC = 7$ cm) だから、動いた距離は3 cm 以上 7 cm 以下である。

(3) 式 $\triangle APD = \frac{1}{2} \times DP \times AD$ $DP = AB + BC + CD - x$

変域 点 P は辺 CD 上 ($AB + BC + CD = 10$ cm) だから、動いた距離は7 cm 以上 10 cm 以下である。

(4) (1)~(3) をもとにグラフをかく。